

意見提出元

株式会社 熊本県民テレビ

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望	ワイヤレスブロードバンドは、国民の安心安全な生活や豊かな生活に寄与しているものであり、携帯電話等のみならず「放送」もその一環と言える。当社のように地方のテレビジョン放送事業者は全国ネットの番組に加え地元密着のローカル番組を放送している。これは地域の情報発信や活性化に貢献しており、ワイヤレスブロードバンド全体の発展の中でも地上デジタル放送は今後も重要な役割を担うものである。
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題	
(3) 関連する国内外の動向と課題	
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	<p>先端的ワイヤレスブロードバンド環境整備においては、リッチなコンテンツや有益な情報を報道や番組を通して国民に（視聴者）に提供するために、番組制作で必要不可欠なFPUや特定ラジオマイクなど番組素材伝送無線システムも重視する必要がある。現在、我々は視聴者に高画質な番組を提供するため番組素材伝送システムのHD化を推進しその充実を図っているところである。</p> <p>更に、我々放送事業者はいくつかの周波数帯の無線素材伝送システムをその伝播特性や伝送容量など目的に応じて使い分けているが、これら全ては国民（視聴者）に高い品質や最新の情報を提供するために欠かせぬ無線システムとなっている。</p>